



© Anton Orlov 2015

新井 卓

ARAI, Takashi

連絡先

Email: info@TakashiArai.com

Website: TakashiArai.com

略歴

1978年神奈川県川崎市生まれ。現在、川崎市、ベルリン、岩手県遠野市を拠点に活動する。

写真の原点を探るうち最初期の写真術・ダゲレオタイプ（銀板写真）を知り、試行錯誤ののち同技法を習得。対象に出会ったときの感覚を、時間と空間を超えて、見るものに生々しく伝えることのできる〈小さなモニュメント〉として、自身のメディアとしてきた。核の歴史に興味を持ち始めた2010年ごろから、第五福竜丸の船体や元船員に出会い、その後、福島、長崎、広島、と撮るべき対象に自然に巡りあってきた。代表的なシリーズに、福島第一原発事故後の相双地域をドキュメントした「Here and There – 明日の島」、アトミック・エイジの記憶と記念物を巡る「百の太陽に灼かれて／EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」、若者のインタビューとポートレート・シリーズ「明日の歴史」のほか、なるべく毎日撮影をつづける「毎日のダゲレオタイプ・プロジェクト／Daily Daguerreotype Project」などがある。

近年は映画制作、執筆、講演のほか多岐にわたる活動を展開。これまで、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、森美術館、東京国立近代美術館ほか内外の多数の展覧会に参加した。2014年に英国ソースコード・プライズ（現 The Solas Prize）、2016年には第41回木村伊兵衛写真賞、日本写真協会賞新人賞、神奈川文化賞未来賞を続けて受賞。2018年、映像詩『オシラ鏡』で第72回サレルノ国際映画祭短編映画部門最高賞。スミソニアン博物館、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ギメ美術館ほか多数の美術館に作品収蔵。単著に『MONUMENTS』（PGI、2015）など。

賞歴

- 2019 遠野市教育文化振興財団 教育文化特別賞
- 2018 第72回サレルノ国際映画祭 短編部門最高賞（映像詩『オシラ鏡』）
- 2017 第66回 横浜文化賞文化・芸術奨励賞
- 2017 第46回 川崎市文化賞アゼリア輝賞
- 2016 第41回 木村伊兵衛写真賞
- 2016 第65回 神奈川文化賞未来賞
- 2016 日本写真協会賞新人賞
- 2014 The Source-Code Prize, イギリス

2013 Image Object 大賞, The Center for Alternative Photography, ニューヨーク

主な職歴

2019-現在 遠野文化研究センター 研究員
2017-2019 国立民族学博物館 館外研究員 (放射線影響をめぐる「当事者性」に関する学際的研究)
2017-現在 公益財団法人原爆の図丸木美術館 評議委員
2014-2017 和光大学表現学部芸術学科 非常勤講師
2012-2014 日本写真芸術専門学校 非常勤講師
2010-2011 東京総合写真専門学校 非常勤講師
2009-2013 京都造形芸術大学通信教育部写真コース 非常勤講師
2006-現在 新井卓写真事務所 代表

主な個展

2020 「1000 Days / 1000 Mirrors」 Purdy Hicks Gallery、ロンドン
2019 「Imago / イマーゴ」 PGI、東京
2019 「Tomorrow's History」 (「Camera and Canvas」関連展) カールスルーエ州立美術館、ドイツ
2017 「明日の歴史のために」 ギャラリー・オフグリッド、福島
2017 「Cent Soleils」 Galerie Camera Obscura、Mois de la Photo 2017、パリ
2017 「横浜フォトアニュアル2017: Bright was the Morning / ある明るい朝に——新井卓展」
横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜
2016 「明日の歴史のために」 ギャラリー交差611、広島
2016 「MONUMENTS」 木村伊兵衛写真賞受賞作品展 コニカミノルタプラザ、東京
2015 「遠野的召喚: 新井卓銀版撮影展」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
2015 「Daily D-type」 Stills、エディンバラ (ACTINIC Festival / 大和日英財団)
2015 「竜の鱗——アトミック・エイジのモニュメント」 東京都立第五福竜丸展示館、東京
2014 「Silverplated」 Artpace San Antonio, テキサス州サン・アントニオ
2014 「百の太陽に灼かれて / EXPOSED in a Hundred Suns」 Photo Gallery International、東京
2013 「D-type Story」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
2013 「特別企画展: 百の太陽に灼かれて / EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」
新井卓銀版写真展 尼崎文化センター、兵庫
2013 「彼岸の花 / Flowers in Equinoctials」 空蓮房、東京
2013 「Here and There - 明日の島」 銘醸館、南相馬市
2012-3 「EXPOSE2012: 百の太陽に灼かれて / BEING EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」 KEN、東京
2012 「福島から広がる視線2 MIRRORS HALF ASLEEP 新井卓銀版写真展」 丸木美術館、東松山市
2012 「Here and There — 明日の島」 銀座ニコンサロン、東京、大阪ニコンサロン (巡回)、大阪
2011 「Dream of Images」 泰吉軒 (Timeless Gallery)、北京
2011 「夜々の鏡 / Mirrors in Our Nights」 川崎市市民ミュージアム、川崎
2011 「光、礫 (いし)、水」 - ダゲレオタイプ、拾得物、映像による<滝>
明治大学生田図書館 Gallery ZERO、川崎
2009 「Flawless Lakes」 Project Basho、フィラデルフィア
2008 「Toward Lakes,」 engawa、葉山町
2007 「ハーフミラー / Half Mirror」 Gallery Space Roundish、大阪
2006 「鏡ごしのランデヴー / Rendezvous on Mirror」 横浜美術館、横浜
2001 「(海、空白の・・・)」 Cafa Cabiria、東京

主なグループ展

- 2021 「Photographic Occurrences」 Cook Center Process Gallery、インディアナ大学
- 2020 「AFTERGLOW - 光の破片をつかまえる／ヨコハマトリエンナーレ2020」 横浜美術館、横浜
- 2019 「Feel the Sun in Your Mouth: Recent Acquisitions」
ハーシュホーン博物館と彫刻の庭, ワシントンDC
- 2019 「Visible Memories of Technologies」 全北（チョンブク）大学自然史博物館, 全州
- 2019 「VOCA展」 上野の森美術館, 東京
- 2018 「<三> 三人展 新井卓 小原一真 片桐功敦」 ギャラリー交差611 + 旧日本銀行広島支店, 広島
- 2017 「DAY TO DAY 日々の記録から学ぶ写真 新井卓×原美樹子」 GALLERY FOREST, SPACE 56,
東京総合写真専門学校, 横浜
- 2017 「KAERU」 Chi-Wen Gallery, 台北.
- 2017 「The Power of Images: MAST Collection. An iconic selection of photographs on industry
and work」 MAST Foundation, ボローニャ
- 2017 「Photobook Phenomenon」 Centre de Cultura Contemporània, バルセロナ
- 2016 「Unclear Nuclear」 URANO, 東京
- 2016 「第11回上海ビエンナーレ」, 上海
- 2016 「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館
- 2016 「?The Image as Question: An exploration of evidential photography」
マイケル・ホッペン・ギャラリー, ロンドン
- 2016 「Samuel F. B. Morse's Gallery of the Louvre and the Art of Invention」
ピーボディ・エセックス博物館, セイラム（アメリカ）
- 2016 「In the Wake 震災以後：日本の写真家がとらえた3.11」 アジア・ソサエティ, ヒューストン
- 2016 「Paradise Lost」 ヴィラ・ロット美術館, ウルム, ドイツ
- 2016 「Festival Photo la Gacilly」 ラ・ガシー, フランス
- 2016 「Memory of the Future: Photographic dialogues between past, present and future」
エリセ美術館, ローザンヌ
- 2016 「東京写真月間2015 日本写真協会賞受賞作品展」 フジフィルム・スクウェア, 東京
- 2016 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 Japan Society, ニューヨーク
- 2016 「第3回 IMAGINE FUKUSIMA —— 新井卓 + 開発好明」
コートギャラリー国立、東京（WATERMARK arts and crafts企画）
- 2015 「To What End?」 カメラ・オーストリア, グラーツ
- 2015 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 ボストン美術館, ボストン
- 2014 「これからの写真」 愛知県美術館, 名古屋
- 2014 「写真とことば、記憶の種 福島—東京」 世田谷生活工房, 東京
- 2013 「六本木クロッシング2013：アウト・オブ・ダウト展」 森美術館, 東京
- 2013 「IO-1: Image Object - International Contemporary Daguerreotypes Exhibit」
The Center for Alternative Photography, ニューヨーク
- 2012 「OVER THE REALITY」 Gallery Terra Tokyo, 東京
- 2012 「写真の現在4 - そのときの光、そのさきの風」 東京国立近代美術館, 東京
- 2011 「EXPOSE 死の灰」 KEN, 東京
- 2011 「新井卓+横浜市写真師会 美術館のなかの写真館プロジェクト」 横浜美術館, 横浜
- 2010 「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」 Fellini Gallery, 上海
- 2009 「Héritages de Daguerre」 Association Louis Daguerre, ブリ市庁舎, フランス
- 2007 「City Panoramic」 san art, ホーチミン・シティ
- 2004 「洋上の浮子、花の筏」 横浜赤レンガ倉庫, 横浜

2003 「映像詩 Aria」日吉アートアンドパフォーマンスプロジェクト, 慶応義塾大学, 横浜

グラント／滞在制作

2014 International Artist-In-Residence, Artpace, テキサス州サン・アントニオ

2006 横浜美術館アーティスト・イン・ミュージアム (AIMY)

パブリック・コレクション

- ・ギメ東洋美術館
 - ・ポストン美術館
 - ・ハーシュホーン美術館／スミソニアン博物館
 - ・東京国立近代美術館
 - ・サンフランシスコ近代美術館
 - ・東京都写真美術館
 - ・MAST財団
 - ・愛知県美術館
 - ・エリセ美術館
 - ・ピーボディ・エセックス博物館
 - ・フランス写真美術館
 - ・川崎市市民ミュージアム
 - ・アドリアン・メンティエン美術館
- (収蔵点数順)

フィルムグラフィ

2021 『妣たちのくにへ：原爆の図2021』 (50min/カラー/DCP/ 5.1ch) *原爆の図丸木美術館委嘱作品

2018 『オシラ鏡』 (20min/カラー/DCP/ 5.1ch)

2014 『49 PUMPKINS』 *サン・アントニオ市アートベイスによる委嘱作品

単著

- ・『MONUMENTS』[写真集]、PGI、2015年
- ・『ドイツ 丘の上の小さなハカセ クラス』 (「世界のともだち」シリーズ) 偕成社、2015年
- ・『EXPOSE』[雑誌]、EXPOSE同人、2014年-
- ・『Here and There - 明日の島』[写真集]、KAGAMI、2012年
- ・『制作日誌『拾日録』より』[テキスト]、私家本、2012年

共著

- ・『言葉をもみほぐす』赤坂憲雄・藤原辰史／新井卓 (写真) 岩波書店、2021年
- ・『災害とアートを探る (フィールド科学の入口)』赤坂憲雄 (編) 玉川大学出版部、2020年
- ・『3.11を心に刻んで 2018』 (岩波ブックレット)、岩波書店、2018年

論文

- ・『Science Fiction Films and the Repose of Souls: Narratives and Images of Government, Scientists, Media, and Citizens, in First Godzilla and Shin Godzilla』Anima Philosophica (京都大学人文科学研究所)、2021.

- ・『肖像写真略史と今日の実践——他者の記憶の〈分有〉のために / A Brief History of Portrait Photography and Today's Practice: For the Partage of Others' Memories』日本オーラル・ヒストリー研究(16)、日本オーラルヒストリー学会、2020.

主なカタログ

- ・「Bright was the Morning / ある明るい朝に」横浜市民ギャラリーあざみ野、2017年
- ・「Evidence Case File: ?The Image as Question: An exploration of evidential photography」GUIDING LIGHT、2016年
- ・「The Memory of the Future」Musée de l'Elysée Lausanne、2016年
- ・「DUBAI PHOTO」Dubai Photo、2016年
- ・「In the Wake: 日本の写真家がとらえた3.11」青幻舎、2015年
- ・「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館、2015年
- ・「これからの写真」愛知県美術館、2014年
- ・「六本木クロッシング2013：アウト・オブ・ダウト展」森美術館、2013年
- ・「百の太陽に灼かれて／EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」尼崎文化センター、2013年
- ・「写真の現在4」東京国立近代美術館、2012年
- ・「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」Fellini Gallery、上海、2010年
- ・「Héritages de Daguerre」Association Louis Daguerre、フランス、2010年

主な著述文献

- ・『日本オーラル・ヒストリー研究(16)』2021年 [論文]
- ・「陽の光あるうちに」『現代詩手帖』2017年-2020年 [連載：表紙、エッセイ]
- ・「水牛のように」2017年-現在 [連載：エッセイ] <http://suigyuu.com>
- ・「百の太陽を探して」 [連載：エッセイ] 小さな雑誌、岡村幸宣（丸木美術館学芸員）編、2013年- 現在
- ・「Sharing Individual Memories on Micro-Monuments: Daguerreotype and New Narratives for the Atomic Age」東アジア環境史学会（Association for East Asian Environmental History）、南海大学、2018年10月26日
- ・「銀板写真で「核の記憶」を追う」ナショナル ジオグラフィック日本版、2017年3月号
- ・「新しいモニュメントの到来のために：後編）極小の記念物（マイクロ・モニュメント）の時代」 [論考]（『岩波』3月号、2017年）
- ・「新しいモニュメントの到来のために：中編）わたしたち<非当事者>たちのための物語」 [論考]（『岩波』2月号、2017年）
- ・「新しいモニュメントの到来のために：前編）銀板写真／呪物／マイクロ・モニュメント」 [論考]（『岩波』1月号、2017年）
- ・「特集17：明日の歴史のために——ダゲレオタイプで写す、十七歳の肖像」 [エッセイ]（『すばる』1月号、2017年）
- ・「もう一度、見ることの困難さとともに」 [エッセイ]（『すばる』10月号、2016年）
- ・「MONUMENTS（ダゲレオタイプ写真） [写真家] 新井卓」 [作品、テキスト掲載]（『グラフィケーション電子版』6号（2016年10月号）
- ・「Shigeo Gocho 1946-1983」 [書評]（『Camera Austria』132号、2016年）
- ・「No Nukes ヒロシマ ナガサキ フクシマ」 [作品掲載] 講談社、2015年
- ・「TEN YEARS OF PICTURE POWER 写真の力」 [作品、テキスト掲載] CCCメディアハウス、2014年
- ・「震災と「核」をダゲレオタイプで撮り続けて」 [作品、テキスト掲載]（『Newsweek日本版』インターネット版「Picture Power」2016年4月）
- ・「新井卓 ダゲレオタイプで記憶をとらえる」 [特集]（『芸術新潮』2015年12月号）
- ・「遠野、早池峰への旅」 [エッセイ]（『春秋』2014年1月号）
- ・「ダゲレオタイプピスト、新井卓」 [インタビュー]（『PHaT PHOTO』vol.79、2013年、1-2月号）
- ・「新井卓銀板写真」 [エッセイ]（毎日新聞阪神版 2013年5月）
- ・『談』96号（TASC）pp. 33,51,69,82-83、2013年 [作品、テキスト掲載]

- ・「願いを込めて銀板に刻む被災地の記憶」 [作品／テキスト掲載]
(Newsweek日本版、2012年3月21日「Picture Power」欄) pp.64-67
- ・『辞書のほん』 vol.5 (大修館書店) [作品／テキスト掲載]、pp.3-6、2011年
- ・「Arai Takashi: a Daguerreotypical Man」 [インタビュー、作品掲載] (『声 ko-e』2011年9-10月号) pp.3-1
- ・「新井卓 - Mirrors in Our Nights／夜々の鏡」 [インタビュー] (『Researching Photography』)
url: <http://researchingphotography.blogspot.com/> 2011年
- ・「ろうそくの炎がささやく言葉」 [詩集] (勁草書房) 表紙、あとがき、2011年
- ・「まなざすこと、希うこと」 [エッセイ] (『春秋』2011年4月号) pp.12-15
- ・「鏡の兩岸で出会うこと」 [エッセイ] (『春秋』2011年1月号) pp.14-18
- ・「From the World」 [展評] (『PHaT PHOTO』2009年10-11月号)
- ・「鏡、リフレクション、イメージ ダゲレオタイプについて」 [エッセイ、作品掲載]
(『談』No.82、TASC) pp. 17、51、85、101-103、2008年
- ・「世界初ダゲレオタイプで切り取る独特の光と影」 [インタビュー] (『多摩人』2009年秋号)

主な関連文献

- ・ Hinman, Tim 「Tick Tock Tokyo」 Sound Matters Podcast, Bang & Olufsen,
<https://journal.beoplay.com/journal/sound-matters>
- ・ 安楽由紀子「ダゲレオタイプにしか写らないもの 新井卓」 kotoba, 集英社, 2018年秋号
- ・ ヒントン実結枝「新しい神話—未来に遺すダゲレオタイプ 新井卓 インタビュー」 [インタビュー] 創造都市横浜, 2018年2月16日, <http://yokohama-sozokaiwai.jp/person/17084.html>
- ・ Whatley, Katherine 「Through the lens: Japanese photographers explore nuclear narratives」 [論考]
The Japan Times, 2018年5月19日
- ・ Sweet, Matthew 「The Sun, 570 Meters, Hiroshima」 Takashi Arai, 2014」 [評論] NewsWeek、pp.
64、2017年5月5日号
- ・ Strecker, Alexander 「Storing Memories: Contemporary Japanese Daguerreotypes」 [論考] Lensculture、
2016年
- ・ Yoshitake, Mika 「Takashi Arai: Silver Plated」 [論考] Exposure、Society for Photographic Education、
2015年秋号
- ・ Goldberg, Vicki. 「Japanese Photographers Reflect on the Fukushima Catastrophe」 [展評] The New York
Times、2015年6月19日
- ・ Feeney, Mark 「At the MFA, Japanese photographers on the 2011 earthquake, tsunami」 The Boston
Globe、2015年4月9日 [展評]
- ・ Bohr, Marco, et al. 「Takashi Arai: Exposed in a Hundred Suns」 [特集] The Source Magazine、2015年11
月号
- ・ 飯沢耕太郎 「新井卓 Exposed in a Hundred Suns」 [展評] artscapeレビュー、2014年9月15日号
http://artscape.jp/report/review/10102502_1735.html
- ・ John L. Tran 「Between darkness and light」 [評論] The Japan Times、2014年9月4日
- ・ Marco Bohr 「Takashi Arai's Photographic Monuments to a Manmade Disaster」 [評論] Visual Culture
Blog、2014年4月23日
- ・ Claudia Sarmiento 「Em Fukushima, a alquimia que revela um drama moderno」 [評論] O Globo、2014年4
月12日
- ・ 岡村幸宣『非核芸術案内—核はどう描かれてきたか』岩波ブックレット、岩波書店、2013年
- ・ 「JAPANESE ART PHOTOGRAPHERS 108」 (『IMA』、2012年冬号)
- ・ 片岡秀子「Japan - Takashi Arai, Tetsuya Higashikawa」 [評論] (『コリア・フォト・マンスリー』2012年10
月号)
- ・ 岡村幸宣「非核×芸術案内：福島希望、自然美」 [評論] (『東京新聞』夕刊 2012年8月16日)
- ・ 金村修「写真のハードコア_01」 [評論] (『日本カメラ』2012年8月号)
- ・ 島貫泰介「展評'12<写真の現在4 そのときの光、そのさきの風>」 [展評] (『アサヒカメラ』2012年8月
号)
- ・ 上野修「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」 [展評] (『アサヒカメラ』2012年7月号)

- [展評] (『アサヒカメラ』2012年7月号)
- ・竹内万里子「写真家とは、という問い」[展評] (高知新聞、南日本新聞ほか 2012年7月2日～)
 - ・手塚さや香「見せ方へのこだわり」[展評] (毎日新聞 2012年6月19日)
 - ・飯沢耕太郎「写真の現在4」[展評] (『artspace』2012年6月2日)
 - ・伊藤俊文「福島から広がる視線2」[展評] (『MAINICHI RT』毎日新聞日曜版、2012年7月26日)
 - ・岸桂子「連続個展とシンポで「写真と大震災」考える」[展評/作品掲載] (『毎日新聞』夕刊 2012年2月20日)
 - ・「Takashi Arai: a Daguerreotypical Man」[評論] (『ko-e』2011年9-11月号)
 - ・調文明「展評'11<新井卓「EXPOSE 死の灰」展 西澤諭志「ドキュメンタリーのハードコア」展>」[展評] (『アサヒカメラ』2011年7月号)
 - ・竹内万里子「新井卓の個展「光、礫、水」複製不可能な写真と向き合う」[展評] (『北海道新聞』2011年3月25日朝刊ほか)
 - ・管啓次郎「QUICKSILVER」[詩]、(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
 - ・倉石信乃「異数の鏡—新井卓のダグレオタイプについて」(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
 - ・伊藤貴弘「鏡から窓へ—うつろいゆくダグレオタイプ」(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
 - ・天野太郎「「美術館の中の写真館」によせて」[コメント] (『美術館の中の写真館』展覧会パネル、2011年1月)
 - ・「横浜美術館で写真展「しあわせの肖像展」-家族写真を紹介」[展評] (『ヨコハマ経済新聞』2011年2月10日)
 - ・「あなたの家族写真、カフェに展示いかが 横浜美術館募る」[展評] (『朝日新聞』2011年1月7日朝刊)
 - ・竹内万里子「Notes sur l' "heureux échec" de la photographie, et sur les possibilités au présent」[批評] (『Infra Mince N° 5』アルル国立写真専門学校、2009年)
 - ・比嘉良治「ダグレオタイプは写真の救世主か!?!」[展評] (『日本カメラ』5月号) pp.234
 - ・「1枚の写真、広がる話」[展評] (『朝日新聞』2008年11月4日朝刊)
 - ・Claire Barliant「Koganecho Bazaar, Yokohama」[展評] (『MODERN PAINTERS』2008年9月1日)
 - ・谷口雅「黄金町バザール」[展評] (『GRAPHICATION』No.159、富士ゼロックス、2008年) pp.46
 - ・平倉圭「<湖>へ—新井卓の風景写真」[展評] (『Toward Lakes, 湖へ』チラシ、2008年)
 - ・「19世紀のカメラで撮った」[展評] (『朝日新聞』2007年12月17日朝刊)
 - ・小林美香「ケータイとダグレオタイプ」[エッセイ] (『Eニッコールクラブ』2007年)
 - ・竹内万里子「写真展-この一年」[展評] (『写真年鑑2006』2007年5月15日) pp.85

主なシンポジウム/学会発表/講演

- ・『日仏対談シリーズ「ル・ラボ」vol.34:災害の「目」のなかで—フクシマと共に創造する』, アンステイチュ・フランセ東京、2021年3月13日 [パネル]
- ・『Handmade Photography Today: A Virtual Artist Talk with Takashi Arai』, Davis Museum at Wellesley College、2020年3月26日 [講演]
- ・『第15回東アジア国際科学史学会 (ICHSEA 2019)』全北 (チョンブク) 大学、全州、2019年9月19-23日 [パネル]
- ・『肖像写真から聞こえる声—物語の〈余剰〉をめぐる』日本オーラルヒストリー学会シンポジウム「ビジュアル・オーラル・ヒストリーの可能性と現在」、大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス、2019年3月10日 [講演]
- ・『UGAT (Anthropological Association of the Philippines)』パラワン州立大学、2018年11月8-10日 [パネル]
- ・『第4回東アジア環境史学会 (AEAEH 2017)』南海大学、天津、2017年10月26-31日 [パネル]
- ・『Artist Talk: Takashi Arai』アジア・ソサエティ、ヒューストン、2016年12月4日 [講演]
- ・『もう一度、<見る>ことの困難さとともに』日本写真芸術学会 写真プリントセミナー、2016年11月25日 [講演]
- ・「『遠野物語』の新時代—平地人を戦慄せしめよ—」遠野文化フォーラム、2016年8月21、22日 [パネル]

- ・『In the Shades on Mirrors: Daguerreotypes as Micro-Monuments for the Atomic Age』J.ポール・ゲティ美術館、2015年11月5日 [講演]
- ・『Exposed in a Hundred Suns: US-Japan Nuclear Legacies and the New Daguerreotypes as Micro-monuments』The Society for Photographic Education、ニューオリンズ、2015年3月14日 [講演]
- ・『写真とことば、記憶の種 福島—東京』世田谷生活工房、2014年5月 [シンポジウム]
- ・『IO-1』The Center for Alternative Photography、ニューヨーク、2013年4月3日 [講演]
- ・『Fukushima Now』Bay Area Artists for Japan、Kala Art Institute、バークレー、2013年3月31日 [パネル]
- ・『ダゲレオタイプ、新しいモニュメントの到来のために』 [講演] APIS Tokyo 2012、日本大学、2012年9月8日
- ・『写真の現在4』 [講演] 東京国立近代美術館、2012年7月21日
- ・『写真とことば』 [パネル] ニコンプラザ新宿、池澤夏樹 (小説家)、鷺尾和彦 (写真家)、竹内万里子 (写真批評家)、新井卓、2012年3月16日
- ・『いま、なぜダゲレオタイプなのか?』 [講演] PHOTO NEXT 2010 日本写真学会セミナー、2010年6月29日 日本写真学会主催、東京ビッグサイト
- ・『イメージと現実をめぐるシンポジウム/詩人・吉増剛増氏を招いて』 [パネル] 2003年12月20日 慶応義塾大学来往舎、横浜

講義とワークショップ

2018/10/20

ハートフォード美術学校 (レクチャー)

2018/6/27

「Sharing Memoties on Micro-Monuments: Photographs as Image-Objects and New Narratives for the Atomic Age」レイクランド大学 (公開レクチャー)

2018/4/4

「環境史研究会：核の時代を写真はどうかとらえてきたのか——豊崎博光と新井卓の理論と実践」京都大学人文科学研究所 (レクチャー)

2018/2/7

「写真について」バンカースクール (レクチャー)

2016/9/11

Photofairs 上海「Our Monuments: Daguerreotype for the Age of New Mythology」 (レクチャー)

2016/4/7

ケンタッキー大学レキシントン校 (レクチャー)

2016/4/5

ネブラスカ大学リンカーン校 (レクチャー)

2016/4/4

メトロポリタン・コミュニティ・カレッジ、オマハ (レクチャー)

2015/12/7

東京藝術大学写真センター (レクチャー)

2015/11/31-12/3

清华大学芸術学部、北京 (ワークショップ、レクチャー)

2015/7/13

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」 (レクチャー)

2014/4/28

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」 (レクチャー)

2013/8/10

東川国際写真フェスティバル (レクチャー)

2013/4/24

明治大学、学部間共通講座「作る人になろう」 (レクチャー)

2013/2/10,17

横浜市民ギャラリーあざみ野, 横浜芸術文化振興財団主催, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2012/12/15

京都造形芸術大学、京都 (公開講義)

2012/9/28

「福島から遠く離れて」, 明治学院大学国際平和研究所、東京 (レクチャー)

2012/6/7

東京藝術大学先端芸術表現科, 上野 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2012/3/28

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2012/3/28

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2011/11/17

早稲田大学文学学術院, 東京 (19世紀写真と制作活動についてのレクチャー)

2010/7/11,18-19

横浜美術館×横浜市民ギャラリーあざみ野企画「シリーズ・写真史を体感する」第1期：写真の誕生 カメラ・オブスクラとダゲレオタイプ (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2010/6/18-21

听墨图片研究室, 北京, 中国 (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2009/11/28

東京総合写真専門学校, 横浜 (ダゲレオタイプ特別授業、講師)

2009/11/6-8

Project Basho, フィラデルフィア (ダゲレオタイプ・ワークショップ)

2009/7/26

東京総合写真専門学校, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/7/9

テンブル大学東京キャンパス, 東京 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/6/18

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2009/4/21

群馬県立女子大学英文学科, 高崎 (リレー講義講師/初期写真史についてのレクチャー)

2009/3/15

“The Lure of Reflection” Project Basho, フィラデルフィア (公開プレゼンテーション、ダゲレオタイプ・デモ)

2009/3/13

Moore Collage of Art & Design, フィラデルフィア (ダゲレオタイプについてのレクチャー、ワークショップ)

2009/2/4

お茶の水女子大学, 東京 (ダゲレオタイプ・デモンストレーション)

2008

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2007

横浜市民ギャラリーあざみ野, 横浜芸術文化振興財団主催, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2007

立教大学, 新座 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2007

東京藝術大学先端芸術表現科, 取手 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)

2006

横浜美術館, 横浜 (ダゲレオタイプについてのレクチャー、デモンストレーション)